

優秀賞

リフォーム前後の写真

タイトル 田園調布の家
-光と風と家族をつなぐリフォーム-

タイプ 持家一戸建

構造 在来木造

講評

応接室・和室を中心としたやや時代遅れのプランを、現在の要求に合うように変更。小屋裏スペースを有効に活用し、断熱・耐震改修を施し、かつ町並みへの配慮も欠かさないという、リフォームの典型とも言えそうな好例。



① 階段と吹抜けでつながる玄関ホール。



② 天井を取り払って生まれた大きな吹抜けのLDK。左側の造作収納は既存のものに窓を新設して利用。



③ 家族が集まるリビングはキッチンや2階寝室とつながり、光と風にあふれている。



④ リビング吹抜けとつながる折返し階段。



⑤ ダイニングとひと続きのプレイルーム。



⑥ 対面式の開放的なキッチン。



⑦ 既存小屋組と古いジャンデリアを活かした書斎。



A 北側にあって暗い台所。



B 日当りの良い南側を占めていた応接室。



C 玄関からまっすぐ上る階段。



D 間仕切りで区切られた暗い和室。

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

建主夫妻がその佇まいを気に入って購入した、路地奥に建つ築38年の家。既存プランは応接室と和室が中心の間取りで、家族が集まるLDKは日当りの悪い北側にあり、玄関と階段も独立していたため、小さな子供3人を育てるには目が届きにくかった。そこで外観のイメージを残しつつ、間取りを全面的にリフォームすることとなった。

リフォームでは、応接室と和室の間仕切り壁を撤去し、キッチンを南側に移動してオープンなLDKとした。玄関から直接2階上っていた階段をリビングから上る折返し階段とし、水廻りやプレイルームをキッチンに隣接させたのも、子育てのためには重要なポイントだった。リビングは、小屋裏を利用した吹抜空間とすることで2階ホールや主寝室とつながり、光と風が通り抜ける、まさにこの家の中心の場

所となった。
構造的には、不規則で複雑だった架構を直下率と構造ブロックに基づいて整理し、明快で合理的な耐震補強を行った。併せて断熱改修を行い、床暖房と天井扇を装備して、大空間でも快適な室内環境を可能にした。これらの工夫により、大きなLDKを中心に、光と風そして家族がつながる、快適な住まいを実現することができた。高級住宅地と呼ばれるエリアでは、意外にも古い建物が尊重されず、家主が変わる度に建替えられることが少なくない。「街並みを作ってきた家を安易に建替えることに疑問を感じた」という建主夫妻の思いが、この計画を成功に導いたのは間違いない。

性能向上の特性

耐震性能、耐久性能、温熱性能、防犯性能、室内空気環境

特に配慮した事項

直下率と構造ブロックに基づいた合理的な耐震補強。
Low-Eペアガラス断熱サッシと高性能グラスウール充填による断熱性能の向上

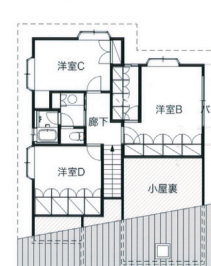
データ

所在地	東京都大田区	築後年数	38年	施工期間	154 日間
該当工事面積	156.66 m ²	総工事床面積	156.66 m ²	該当部分工事費	3,000 万円／総工事費 3,000 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2 人／65歳以上: 人／15歳未満: 3 人／ペット:				
設計会社	イン・ハウス建築計画／カガミ建築計画	担当者	中西 ヒロツグ／各務 謙司		
施工会社	(株) 参創ハウテック	担当者	小園 実		

リフォーム前



1F PLAN



2F PLAN

リフォーム後



1F PLAN



2F PLAN

S=1:250

リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部分